

平成28年8月10日
相模原市発表資料

史跡田名向原遺跡公園の縄文時代復元住居火災について

史跡田名向原遺跡公園内の展示物「縄文時代の竪穴住居（復元）」から火災が発生しましたので、お知らせします。

1 火災確認日時

平成28年8月10日（水） 午前11時20分頃

2 発生場所

史跡田名向原遺跡公園（相模原市中央区田名塩田3丁目13番）

3 火災の物件

縄文時代中期の竪穴住居跡レプリカ 1棟（平成19年3月31日公開）

史跡田名向原遺跡公園隣接地で発見された約5,000年前の縄文時代中期の竪穴住居跡（直径約3mの円形）を公園整備の一環として展示物として復元したものの。復元は、柱材をクリ、屋根はカヤを用いて施工しました。

4 火災の内容

午前11時20分頃、公園内から煙の出ていることを通行人が発見し、史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館（愛称：旧石器ハテナ館）の職員に連絡し、当該職員から消防通報し、相模原市消防が出動して、午後0時50分に鎮火しました。

被災状況は、全焼。人的被害は発生しておりません。現在、被災箇所周辺は立入禁止の措置をとっています。

問い合わせ先 生涯学習部 文化財保護課 担当：土井
042(769)8371